よこはま水辺レポート

マニュアル

身近なみずべの環境を

見てみよう！

五感で感じる、河川の魅力を見つける

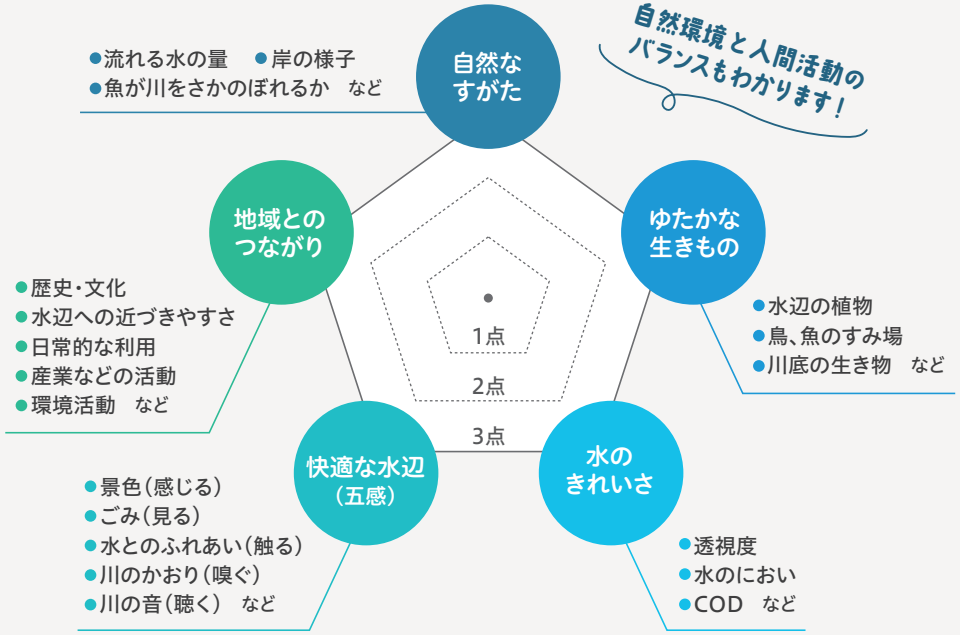
よこはま水辺レポート

誰でも参加OK!

よこはま水辺レポートは、五感を使って簡単にできる調査です。コミュニティや家族、友人のグループでも、個人でも参加できます。市内の川ならどこでも評価できます。
みんなで楽しく評価して、結果を共有しましょう！

「みずしるべ」を使って評価してみよう！

みずしるべとは、水辺を「水のきれいさ」だけでなく、「自然なすがた」「生きもの」「快適さ」「地域とのつながり」の５つの視点から総合的に評価し、身近な水辺の現状や特徴をレーダーチャートで可視化できる指標のことです。
よこはま水辺レポートでは、このみずしるべを使って市民のみなさんが水辺を評価します。



※◎=3点、○=2点、△=1点として評価軸ごとの平均値で点数化しています。

横浜の水辺を見てみよう！

横浜市には、鶴見川、帷子川、大岡川、境川など、たくさんの川があります。それぞれの川には、自然の姿や生き物の豊かさ、水のきれいさなど、いろんな特徴があります。
みんなで市内の川を訪れて、水辺を観察してみましょう！

横浜市河川図

調査の流れ

01 市内の河川から調査場所を選ぶ

市内の河川であればどこでも調査対象です。
家の近く、お出かけ先など、色々な場所で調査してみましょう。

02 調査方法を選ぶ

アプリ※、紙、電子申請システム（個人のみ）のうちから、
ご自身に合った調査方法を選んでください。（下記横浜市ホームページを参照）

※アプリ「水辺へGo!」で調査する場合は、必ずグループコード「95929644」を入力してください。
詳細は横浜市ホームページをご確認ください。

03 調査実施

必要に応じて、河川と地域とのつながりなどを事前調査してみましょう。
現地へ行く際は安全面（下記注意事項参照）に配慮して調査を実施してください。

04 調査結果を横浜市へ報告

2で選んだ調査方法毎に報告方法が異なります。
下記横浜市ホームページを参照し、それぞれの方法で報告をお願いします。

05 調査結果は市のホームページ等で公表

みなさんの調査結果は、横浜市で取りまとめて、ホームページ等で毎年3月頃に公表します。また、調査に参加してくれた団体については、団体名を結果と併せて公表※させていただきます。 ※個人名は非公表

- アプリのダウンロード
- 調査票のダウンロード
- 電子申請システムへのアクセス
- 結果の報告方法　など詳細はこちら

横浜市ホームページ
「よこはま水辺レポート」

! 調査の際に気を付けること

- ◆子どもだけでの調査活動は大変危険ですのでやめましょう。
- ◆河川に入る場合は、以下のことに注意しましょう。
  - ●流れが速い場合は入らない
  - ●川底が見えない場所には入らない
  - ●ライフジャケットの着用
  - ●はだしは危険ですので、ぬれてもよい靴を履く
- ◆降雨後は、河川の水量が増える等危険ですので、前日及び当日の天気に注意しましょう。
- ◆川底やゴミなどを触る場合には、ゴム手袋などをはめて調査しましょう。
- ◆ケガをしたときに備えて、病院の場所（連絡先など）や連絡方法について事前に確認しましょう。

CHECK 調査は全て、自分の感覚（主観）で点数をつけてください。
点数をつけるのに困った場合は、評価のポイント を参考に調査を実施してみてください。

1 自然なすがた

Q. 流れる水の量 ～水の流れは豊かですか？～

◎ たくさん流れている

○ 流れている

△ 流れていない

評価のポイント　川にはたくさんの水が流れているか、写真も参考にして水量や流れ（水面に波が見える）などの川の様子を調べてみましょう。

Q.岸の様子 ～岸には自然が残っていますか？～

◎ 自然が多く残っている

○ コンクリートと自然が同じくらい

△ 人工的でコンクリートが多い

評価のポイント　岸には自然が多いか、コンクリートが多いか、写真も参考にして川の様子を調べましょう。

Q.魚がさかのぼれるか ～障害物がないですか？魚道はありますか？～

◎ 上流にさかのぼれる
（障害物がない）

○ さかのぼれる工夫が
されている（魚道など）

△ 障害物があってさかのぼれない

評価のポイント　生き物の移動を邪魔するもの（滝や堰（せき）など）がないか、邪魔するものがある場合は移動できるような工夫がされているか写真も参考にして調べましょう。

2 ゆたかな生き物

Q.水辺の植物 ～水辺に植物は生えていますか？～

◎ 種類が多くたくさん生えている

○ 所々生えている

△ 生えていない

評価のポイント　調査地点の周辺の植物の様子を写真も参考にしながら調べましょう。

Q.鳥のすみ場 ～鳥や動物はいますか？～

◎ たくさんいる、すみ場が多くある　○ いる、すみ場がある　△ いない、すみ場がない

評価のポイント

鳥や動物が生活する場所がたくさんあるか探してみましょう。
- えさになる虫、魚、水草がある川の中
- 休んだり、巣作りができる水草の中
- 草むらや木の上

◎ たくさんいる、すみ場が多くある

Q.魚のすみ場 ～魚はいますか？～

◎ たくさんいる、すみ場が多くある　○ いる、すみ場がある　△ いない、すみ場がない

評価のポイント

魚が生活する場所がたくさんあるか探してみましょう。
- えさになる藻や虫がいる
- 石のかげ
- 隠れられる水草の中

◎ たくさんいる、すみ場が多くある

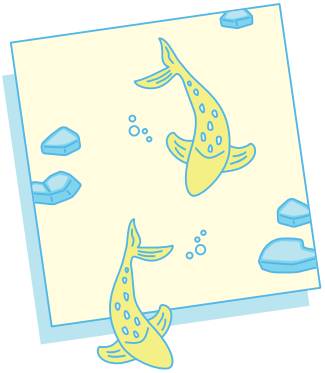
Q.川底の様子と底生生物 ～川底に生き物はいますか？～

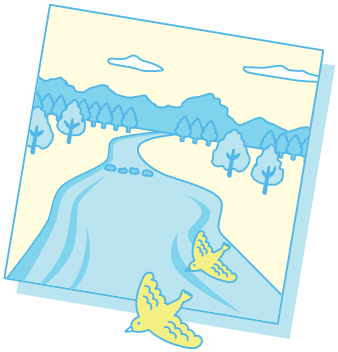
◎ 川底に砂や石があり、うっすらと藻がついて虫がいる　○ 石の表面がぬるぬるしている、藻が多い　△ 川底は黒っぽくて藻や虫はいない

評価のポイント

川底の生き物が生活する場所がたくさんあるか探してみましょう。川に入る際は、流れの速さ、深い場所に十分注意してください。
- 石の裏側や水草
- 川底の石を裏返してみよう

◎ 川底に砂や石があり、うっすらと藻がついて虫がいる





3 水のきれいさ

▶次の3項目は、できる範囲で実施してみてください。
調査が実施できない場合は空欄のままで構いません。
▶川から水を採る際は、安全面に配慮し、十分に注意してください。
特に子どもだけでの調査は危険ですのでやめましょう。

Q.透視度 ～水は透明ですか？～

◎ 70㎝以上　○ 50㎝以上70㎝未満　△ 50㎝未満

評価のポイント 透視度計を使って、実際に調べてみましょう。

透視度計はペットボトルを使って作ることもできます

国土交通省北海道開発局
「水防災教育用資料実験素材集19」
https://www.hkd.mlit.go.jp/ky/jg/bousai/ud49g70000005b9q.html

※透視度は色やにごりなどの水のよごれを数値で表します。
透視度計に水を入れて、底の十字が見える高さを測ります。

Q.水のにおい ～水はくさくないですか？～

◎ においを感じない　○ 少しくさい　△ とてもくさい

評価のポイント 水そのもののにおいをかいでみましょう。

Q.COD ～水はきれいですか？～

◎ 3mg/L以下　○ 5mg/L以下　△ 5mg/Lを超える

評価のポイント 水の汚れを調査します。
実際にパックテストで調べてみましょう。

※COD（単位はmg/L）とは、有機物による汚れを測る指標で、きれいな水ほど値が小さくなります。

4 快適な水辺

Q.景色（感じる）～川や周りの景色はきれいですか？～

◎ 川らしい景色
（自然が多い）

○ 普通の景色
（自然がある程度ある）

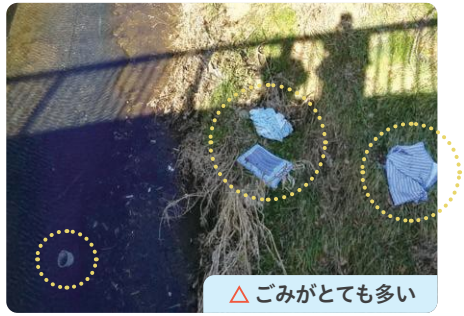
△ 人工的な景色
（コンクリートが多い）

評価のポイント 川岸だけではなく、目に入る周りの景色を見て、自然が多いまたはコンクリートが多いと感じるかどうか高い所などから眺めてみましょう。

Q.ごみ（見る）～ごみはありますか？～

◎ ごみはない　○ ごみはあるが多くはない
△ ごみがとても多い

評価のポイント 水面や川岸のごみの量が気になるかどうかを調べてみましょう。


△ ごみがとても多い

Q.水とのふれあい（触る）～水にさわってみたいですか～

◎ さわってみたい　○ さわってもよい
△ さわりたくない

評価のポイント 川の水を見て、手でさわったり、足を入れたいと思うか判断してみましょう。

◎ さわってみたい

Q.川のかおり（嗅ぐ）～どんなにおいを感じますか？～

◎ 心地よいかおりを感じる　○ 気になるにおいはない　△ いやなにおいがする

評価のポイント
その場所のにおいは心地よいですか？
いやなにおいですか？

Q.川の音（聴く）～どんな音が聞こえますか？～

◎ 川の心地よい音がする　○ 気になる音はしない　△ いやな音や騒音がする

評価のポイント
川だけではなく周辺から聞こえてくる音も含めて、どう感じますか？

5 地域とのつながり

Q.歴史・文化 ～川にまつわる昔の話を聞いたことがありますか？～

◎ たくさん聞いたことがある　○ 聞いたことがある　△ 聞いたことがない、分からない

評価のポイント
歴史的、文化的な事物の有無、保全、継承状況について調査します。必要に応じて現地調査だけではなく、文献やヒアリングなどの事前調査を実施してみましょう。
【有形資源】
史跡、歌碑、記念碑、文学、書籍など
【無形資源】
景勝地、お祭り、伝説、民謡など

◎（例）まさかりが淵の伝説

Q.近づきやすさ ～水辺には近づきやすいですか？～

◎ 近づいて、水にふれられる　○ 近づけるが、水にはふれられない　△ 水辺を見ることができない

評価のポイント
水にふれられるところまで簡単に行けるか、実際に調べてみましょう。

◎ 近づいて、水にふれられる

Q.日常的な利用 ～多くの人が利用していますか？～

◎ 多くの利用がある　○ 利用はあるが少ない　△ 利用されていない、分からない

評価のポイント
川で遊んだり、散歩や魚釣りなどをしている人など水辺を訪れる人がどのくらいいるのか、実際に調べてみましょう。

◎ 多くの利用がある

Q.産業などの活動 ～川の水を利用した産業活動はありますか？～

◎ よく利用されている（農業など）　○ 少し利用されている　△ 利用されていない、分からない

評価のポイント
農業、工業、観光など地元に限らず利用されているか調査しましょう。

Q.環境活動 ～川に関する環境活動は行われていますか？～

◎ よく活動している　○ 時々または一時的に活動をしている　△ 全く活動がない、分からない

評価のポイント
清掃活動や環境学習・自然観察などをしている人など、川を対象とした活動をしている人たちはどのくらいいますか？

◎ よく活動している

調査が終わったらやること

アプリ
グループコードが入力されているか必ず確認してください。

調査票
まとめ用のファイルを使って全員分の調査結果をまとめたうえで横浜市にメールで送ってください。

電子申請システム
申請を完了させてください。

※詳細は横浜市のホームページを参照してください。

横浜市みどり環境局水・土壌環境課
横浜市中区本町6-50-10
［TEL］045-671-2489
［mail］mk-mizu@city.yokohama.lg.jp

令和7年6月初版